



はがきでペン優秀作品

お兄さんが車のう
かん。しけん。にう
か。った。ウオ。っ
てほえていたよ。
四年 細岡 娃里

小4 細岡 娃里

一画ずつまじめに取り組み、字形が整った。

運転免許証を祖父は返
納しました。ドライブ
を楽しんでいたから寂
しいだろうけれど仕方
ないと思うよ。
中一 高橋 梨良

中1 高橋 梨良

どの線も最後まで気持ちを含めて書いてきれい。

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

審査担当 金子榮風先生

ようたけうちまじゅうり

ていねいにせんをかき、もじのかたちがよくととのっている。かまえがよく、うでをおおきくうごかしているのがいいね。

竹内真珠利 幼年 5級

いねんせこのひなた

はんしいっぱいに大きくかいたのにこれだけきれいなかたちになっていてすごい。ハネやハライがどれもじょうずにできた。

佐野ひなた 小1 9級

たよたうい

太くうちこんでからはじまるたての線が強くてりっぱ。線の長さとかくどをよく見て書けているので字の形がうつくしい。

ささ木ひろ 小2 準初

星

線の場所をよく考え、たての線を太く書くことで安定感がある作品。横の線の右上がりの角度がそろっているのがいい。

篠原彩那 小3 2級

と大空

リズムに乗ってうでを大きく動かし、のびのびと書いていて楽しそう。「大」の右のハライの筆づかいが特に素晴らしい。

齋藤美陽 小4 準2

食文化の

最後まで気持ちがこめられているハライやハネがきれい。「食・文」バランスを取るのがむずかしい字の形を上手く整えた。

飯塚光花 小5 2段

学校

次の画へと気持ちをつなげているのが伝わる。画数の多くない文字を書く時に大事な太く力強い線を効果的に書けている。

森田栞音 小6 準3

漢字

楷書の基本である始筆と終筆の止まり方が良いので全ての点画に重厚感が生まれた。観る者を魅了する生命感溢れる作品。

水上咲季 中1 3段

白い大

決して急ぐことなく一画ずつじっくりと線を書きながら次の画、次の文字へと気持ちを整えている堂々とした行書作品。

土屋果澄 中2 4段

白い大

腕の動きを大きくして良いリズムで軽妙に書き進めて余白が美しい。筆遣いが達者で、特に長いのびのびとした線が魅力。

但野光 中3 準7

四月十二日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評

